

脳神経外科

1. スタッフ

科長(兼)教授 貴島 晴彦

その他、教授 2 名、准教授 1 名、講師 3 名、助教 6 名、
医員 19 名、病棟事務補佐員 1 名

(兼任を含む。また、教授、助教、研究員は特任を含む。)

2. 診療内容

脳神経外科で扱う疾患は、腫瘍性病変(神経膠腫、転移性脳腫瘍など)、脳血管障害(脳卒中など)、神経機能障害(てんかん、パーキンソン病など)、脊椎脊髄疾患(脊髄腫瘍、脊柱管狭窄症など)、小児脳神経疾患(水頭症、二分脊椎など)、など多岐にわたる。これらのすべての患者に対し、安全、確実、低侵襲な治療を提供するため、当科では、複数の専門医によるグループ診療を行っている。

(1) 以下に各グループの担当する疾患名を列挙する。

1) 脳腫瘍グループ

- ・脳腫瘍一般(良性、悪性)
- ・特殊な腫瘍(間脳下垂体腫瘍、聴神経腫瘍、頭蓋底悪性腫瘍、悪性リンパ腫、小児脳腫瘍)

2) 血管障害グループ

- ・脳動脈瘤
- ・硬膜動静脈瘻
- ・脳梗塞
- ・脳内出血
- ・脳動静脈奇形
- ・脳血管閉塞・狭窄症
- ・もやもや病
- ・頭頸部血管損傷

3) 神経機能外科疾患グループ

- ・てんかん
- ・運動異常症(パーキンソン病、ジストニア他)
- ・難治性疼痛(視床痛他)
- ・三叉神経痛
- ・顔面けいれん
- ・痙縮・痙性

4) 脊椎脊髄疾患グループ

- ・椎間板ヘルニア、脊椎症、脊柱管狭窄症
- ・脊髄腫瘍
- ・脊髄損傷
- ・脊髄空洞症
- ・腰痛、坐骨神経痛

5) 小児脳神経外科グループ

- ・水頭症
- ・脊髄脂肪腫
- ・脊髄髄膜瘤
- ・その他各種先天奇形

(2) 各専門グループにより、以下の治療や検査を提供している。

- ・開頭手術
- ・脳血管内手術(カテーテル手術)
- ・コンピュータ支援手術(ナビゲーション)
- ・脳機能局在同定(神経磁気診断装置、MEG)

- ・難治性疼痛の治療(脊髄刺激療法、経頭蓋磁気刺激療法)

- ・てんかん、不随意運動、痙縮等に対する機能外科
- ・脊椎・脊髄疾患に対する顕微鏡下低侵襲手術
- ・定位放射線治療(サイバーナイフ)
- ・悪性脳腫瘍に対する免疫療法(WT1療法)
- ・機能再生外科治療(脊髄嗅粘膜移植治療)
- ・ボツリヌス毒素療法(顔面痙攣、ジストニアなど)

3. 診療体制

(1) 外来診療

外来では、疾患に応じて各分野の専門医が診療を担当している(表2参照)。

特殊な疾患については専門外来も設けている(下垂体専門外来、神経機能疾患外来)。

(2) 入院診療

当科は 37 床を有している。各患者を複数の医師が担当しており、治療方針については、毎週 1 回行われるグループカンファレンスで決定している。また、毎週火曜日には診療科全体での総カンファレンスおよび総回診を行い、科内での情報共有をはかっている。

(3) 院内の各種センターへの診療参加

院内のさまざまな診療センターにおいて、神経系に対する外科治療を担当している。

以下に、脳神経外科が協力しているセンターを列挙する。

- ・脳卒中センター：神経内科・脳卒中科、高度救命救急センター、放射線科と連携し、24 時間体制で脳卒中急性期患者の治療を行っている。
- ・てんかんセンター：小児科、神経内科・脳卒中科、神経科精神科とともに、長時間ビデオ脳波等を用いた診断から外科的治療まで行っている。
- ・疼痛センター：麻酔科、整形外科、神経科・精神科、神経内科・脳卒中科、リハビリテーション部と定期カンファレンスを設け、包括的な診療を目指している。

(4) その他の共同診療体制

各種センター以外にも、以下のような疾患に対して、関連各科と協力し、最先端治療を行っている。

- ・頭頸部血管損傷(高度救命救急センター)
- ・間脳下垂体疾患(糖尿病・内分泌・代謝内科)
- ・不随意運動(神経内科・脳卒中科)
- ・痙縮(リハビリテーション部)
- ・頭蓋底手術(耳鼻咽喉科・頭頸部外科、形成外科、眼科)
- ・小児脳腫瘍、先天奇形(小児科、産科、婦人科)

4. 診療実績

(1) 外来診療実績

平成 29 年度外来診療患者総数：12,587 名

(2) 入院診療実績

平成 29 年度脳神経外科延べ入院患者総数：810 名

(3) 検査・治療実績

手術件数：平成 29 年度手術総数（定位放射線治療含む）：625 件（表 1 参照）

表 1 分野別手術件数 625 件（平成 29 年度）

脳神経外科手術の総数	625 件
脳腫瘍	144 件
脳腫瘍（定位放射線治療）	61 件
血管障害（外科手術）	34 件
血管障害（血管内手術）	85 件
神経機能外科疾患	110 件
脊椎脊髄疾患	75 件
奇形	7 件
水頭症	56 件
外傷	20 件
その他	33 件

5. その他

当科では以下のような先進的医療を行っている。

- ・Brain Machine Interface による脳機能再建の研究
- ・悪性脳腫瘍の新規免疫療法、分子標的治療
- ・自家嗅粘膜移植による脊髄損傷後の機能再生
- ・反復的経頭蓋磁気刺激法による神経因性疼痛の治療
- ・難治性本態性振戦に対する経頭蓋超音波視床破壊術

6. 各種専門医・認定医数

脳神経外科の各分野において、さまざまな専門医制度、認定医制度が存在している。当科には関連疾患ほぼすべての領域の専門医が多数在籍しており、診療のみならず教育面でも充実している。

以下に当科所属の専門医、認定医の人数を列挙する。

日本脳神経外科学会専門医	24 名
日本脳卒中学会専門医	10 名
日本脳神経血管内治療学会指導医	2 名
日本脳神経血管内治療学会専門医	5 名
日本脳卒中の外科学会技術指導医	2 名
日本がん治療認定機構認定医	3 名
日本定位機能神経外科学会技術認定医	6 名
日本てんかん学会認定指導医	3 名
日本てんかん学会認定専門医	5 名
神経内視鏡学会技術認定医	4 名
日本頭痛学会認定専門医	2 名
日本脊髄外科学会認定指導医	1 名
日本脊髄外科学会認定専門医	2 名

7. 各種カンファレンス・研究会など

以下のカンファレンスや研究会に参加している。

(1) カンファレンス

キャンサーボード

脳卒中カンファレンス

てんかんカンファレンス

パーキンソン病・DBS カンファレンス

疼痛カンファレンス

内分泌下垂体カンファレンス

小児腫瘍小生検討会

(2) 当科主催研究会

脳神経外科関連施設懇話会（1 年 2 回）

大阪 CVD 研究会（1 年 1 回）

大阪脳血管内治療研究会（1 年 1 回）

大阪脊椎脊髄外科カンファレンス（1 年 1 回）

表 2 外来診察スケジュール（担当医の専門分野を記載）

	月	火	水	木	金
1 診	神経機能 てんかん	神経機能	脳腫瘍/小児疾患	神経機能 間脳下垂体疾患	神経機能 てんかん 間脳下垂体疾患
2 診	脳腫瘍		血管障害	神経機能 てんかん	神経機能 てんかん
3 診	血管障害	間脳下垂体疾患	脊椎・脊髄	神経機能	脳腫瘍
4 診	脊椎・脊髄				血管障害